電気情報工学科　　平成２６年度

科目名	情報処理基礎Ⅱ Fundamentals of Information Processing Ⅱ			担当教員	重田　和弘		
学　年	２年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	２
分　野	専門	授業形式	講義・実習	科目番号	14132007	単位区分	履修単位

学習目標

目標区分(B)：知識－科学技術の基礎知識と応用力

１．C 言語を用いたプログラミングの基礎を習得する。
２．コンピュータとインターネットを利用するうえでのルールとマナーを理解する。

進め方

プログラミングの説明と実習を交互に行い授業を進める。実習では，4～6 時間程度で自主的にプログラミングを行う機会を設け，作成したプログラムについて報告書を提出させる。

学習内容

学習項目（時間数）	学習到達目標
１．ガイダンス(1) ２．コンピュータを利用するうえでのルールとマナー(2) ３．プログラムの作成方法(5) ４．入出力と演算(6) [前期中間試験](2)	・コンピュータとインターネットを利用するうえでのルールとマナーを理解できる。 ・プログラム開発環境の操作方法を理解し，簡単なプログラムを作成できる。 ・入出力処理と演算を用いた簡単なプログラムを作成できる。
試験返却・解説(1) ５．分岐と繰り返し(13) (1) if-else 文 (2) for 文 前期末試験	・if-else 文，for 文を用いた簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐と繰り返し処理を含む簡単なフローチャートを書き，そのプログラムを作成することができる。
試験返却・解説(1) ５．分岐と繰り返し（つづき）(3) (3)While 文 (4)do-while 文 (5)switch 文 ６．総合演習Ⅰ(4) ７．配列(6) (1)一次元配列 (2)多次元配列 [後期中間試験](2)	・ while 文，do-while 文，switch 文を用いた簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐と繰り返し処理を用いたプログラムが作成できる。 ・一次元配列を用いたプログラムを作成できる。 ・多次元配列（3 次元以下）を用いたプログラムを作成できる。 ・配列を用いて，ソートプログラムを作成できる。
試験返却・解説(1) ８．文字列(3) ９．総合演習Ⅱ(6) １０．まとめ(4) 後期末試験 試験返却・解説(1)	・文字列の入出力処理を行う簡単なプログラムを作成できる。 ・代表的な文字列関数を使用して，文字列処理を行う簡単なプログラムを作成できる。 ・分岐，繰り返し処理，配列・文字列処理を用いたプログラムが作成できる。

評価方法

評価の内訳は，定期試験の成績を 70%，プログラミング実習（レポートを含む）の成績を 30%とする。

履修要件

特になし

関連科目

情報処理基礎Ⅰ（１年）　→　情報処理基礎Ⅱ（２年）　→　情報処理基礎Ⅲ（３年）

教　材

教科書：黒瀬能聿，福田之介，「やさしく学べる C 言語」，森北出版

備　考